

各位

 2023年6月19日
 碧海信用金庫

2023年3月期（令和4年度）決算発表

碧海信用金庫（理事長：山内 正幸）は、2023年3月期（令和4年度）の決算について、以下のとおり業績の要約を公表いたします。

記
1. 主要業績数値

		2023年3月期 (当期)	2022年3月期 (前期)	増 減
預貸金状況	預金積金残高	2,274,365百万円	2,236,754百万円	+37,610百万円(+1.68%)
	貸出金残高	1,180,549百万円	1,149,278百万円	+31,271百万円(+2.72%)
損益状況	業 務 純 益	1,131百万円	6,788百万円	△5,657百万円(△83.33%)
	実質業務純益	1,131百万円	6,788百万円	△5,657百万円(△83.33%)
	コア業務純益	4,583百万円	6,543百万円	△1,959百万円(△29.94%)
	コア業務純益 (投資信託等解約損益を除く)	6,090百万円	5,658百万円	+432百万円(+7.63%)
	経 常 利 益	3,329百万円	6,782百万円	△3,452百万円(△50.90%)
	当 期 純 利 益	2,557百万円	5,013百万円	△2,455百万円(△48.97%)
健全性	純 資 産 額	164,245百万円	178,579百万円	△14,334百万円(△8.02%)
	自己資本比率(単体)	15.10%	15.53%	△0.43ポイント
	不良債権比率	2.63%	2.53%	+0.10ポイント

※ 単位未満切捨て表示。

※ 不良債権比率は金融再生法ベース。小数点第3位を四捨五入して表示。

- ・ 業務純益とは、金庫の基本的業務に係る利益です。
- ・ 実質業務純益とは、業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。
- ・ コア業務純益とは、業務純益から、一時的な変動要因（一般貸倒引当金繰入額および国債等債券関係損益）を除いたものです。

2. 業績コメント

〔預貸金状況〕

- 預金積金残高は、個人のお客さまからの普通預金などを中心に増加し、前期比 37,610 百万円増加の 2,274,365 百万円となりました。
- 貸出金残高は、事業者向けの貸出金や住宅ローンの増加により、前期比 31,271 百万円増加の 1,180,549 百万円となりました。

〔損益状況〕

- 国内外金利上昇の影響により、国債等債券関係損益など有価証券運用に係る損益が減少したことが影響し、当期純利益は前期比 2,455 百万円減少の 2,557 百万円となりました。
- 一方で、役務取引等利益などの増加により、貸出業務等本業の利益を示す指標である「コア業務純益（投資信託解約損益を除く）」は、前期比 432 百万円増加の 6,090 百万円となりました。

〔健全性〕

- 純資産額は、国内外金利上昇などに伴うその他有価証券評価差額金の減少により、前期比 14,334 百万円減少の 164,245 百万円となりました。
- 自己資本比率（単体）は、前期比 0.43 ポイント低下の 15.10%となりました。信用金庫に求められる国内基準（4%）を大きく上回っており、当金庫の安全性は極めて高い状態にあります。
- 不良債権比率（金融再生法ベース）は、前期比 0.10 ポイント上昇の 2.63%となりました。

以 上